

ビジュアル・グラフィックス株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：関本晃靖）は、6月27日、株式会社インディゾーン（東京都港区、代表取締役社長：田中一郎）と合同で両社の持つ映像制作ソリューションを組み合わせるビジュアルソリューションセミナーとして東京デザイナーズ学園協賛により同校スタジオにて共同セミナーを開催しました。

インディゾーンからは、Foundry社からリリースされた待望のタイムライン対応のコンフォーミング環境を実現するHIEROを中心に定評のNukeを紹介しました。ビジュアル・グラフィックスはNAB2012にて発表されプレリリースが始まったAutodesk Smoke for Mac 2013と発表以来好評、注目を集めているシェアプロダクションサーバーのEditShareを紹介しました。両社の持つ映像制作環境を加速するソリューションを同時に見れるということもあり、セミナー後の懇親会でも各製品の説明を求める参加者もいるなど盛況の内の開催となりました。



セミナー・懇親会風景



紹介したソリューション

◇ Autodesk 「Smoke for Mac 2013」
NAB2012にて新バージョンが発表になり、さらなる機能拡張と大幅な価格変更がなされより身近になりました。iMac/MacBookProの選択が可能になり、待望のThunderbolt対応のストレージ、VideolOと組み合わせが実現。

◇ The Foundry 「NUKE」
Nukeはノードベースと呼ばれるスタイルを採用したコンポジットソフトウェアです。ノードベースならば制作の過程を俯瞰することができ、全体像が把握しやすくなります。その上、映像制作で飛び交う多くの情報を制作者同士で共有することが可能です。

◇ The Foundry 「HIERO」
HIEROはVFX制作におけるカット管理、コンフォーミング作業、およびレビューを行うための斬新な「Pipeline in a box」です。HIEROは、NUKE待望のタイムラインでありながら、その他の編集、VFX、およびフィニッシングツールとの共同作業を可能にします。

◇ Editshare Shared Storage Server
ノンリニア編集における共有センターストレージに最適なダイレクトマウント対応プロダクションサーバーです。イーサネットプロトコルの独自チューニングによる安定したパフォーマンスとプロジェクトファイル共有をマネージメントする専用アプリを装備し、国内外に300以上のユーザーを持っています。



今回ご協力頂き、セミナーにて会場となった『東京デザイナー学園』様

東京都千代田区神田駿河台2-11